

全世代が住みやすい街、鎌倉へ

① 現役世代への支援

現役世代は、地域経済を支え、未来の鎌倉をつくる重要な世代です。現役世代が「住みたい」「働きたい」と思える街にすることで**人口増加、地域経済の活性化、税収 UP**といった循環が生まれます。この循環が全住民へのサービス向上に結びつくことで、鎌倉を住みやすい街にすることを目指します。



④ 税収 UP

鎌倉市が持続可能な発展を遂げるためには、安定した税収の確保が必要です。住民サービスの維持、老朽化施設のインフラ整備に十分な予算を確保するためにも、企業誘致や現役世代の定住を目指します。また、観光地という特徴を活用し、**住民の負担を増やさず、観光税の導入し、税収を増やす施策**などが必要だと考えております。



② 子育て世代への支援

子育て世代への支援は、地域の未来を支える重要な施策であると考えます。子育てしやすい街づくりが現役世代、子育て世代の定住や移住に結びつきます。支援策を通じて、若い世代が鎌倉に住み続けやすくなり、人口減少を防ぎ、**将来的な税収増加、治安維持へとつながります。**



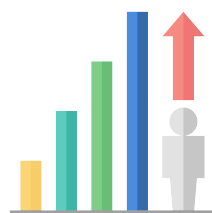
⑤ 住民サービスの向上

多くの住民が生活費の負担増や公共インフラの老朽化、医療・介護サービスの不十分さに不安を抱えています。これらを改善し、より暮らしやすい環境を整備することで、**住民の満足度を向上させ、鎌倉に住み続けたいと思える街づくり**を目指します。



③ 人口の増加

鎌倉市の未来を支えるためには、人口の増加と定住促進が不可欠です。①②の支援策により若い世代が鎌倉に住みやすくなるような環境を整え、「**住み続けたい街**」としての魅力を高めることで人口増加を目指します。これらの支援策の中で、**空き家問題にも取り組みつつ**、ひいては企業誘致や定住による**税収 UP**につながり、全世帯へのサービス還元を想定しております。

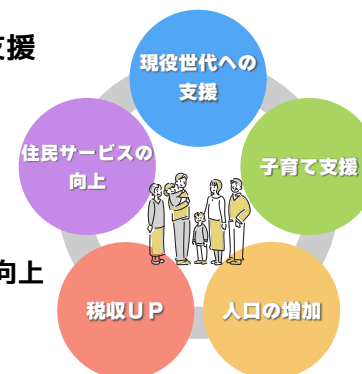


現役世代への支援

- 経済的支援
- 仕事環境の改善
- 通勤、通学支援
- 結婚、出産支援

住民サービスの向上

- 住民負担の軽減
- 生活の質の向上



税収 UP

- 企業誘致
- 観光税の導入

子育て支援

- 経済的支援
- 待機児童ゼロ対策
- 第2子以降の育児、教育支援

人口の増加

- 空き家問題 × 移住促進
- 定住促進策

